日米相互特技訓練を実施

Yokota hosts bilateral exchange program

October 3, 2016

Original text by Machiko Imai
374th Airlift Wing Public Affairs

横田基地で9月20日から30日の11日間に渡り、横田基地の空兵と航空自衛官による「日米相互特技訓練」が実施された。

同訓練は、国内の米空軍基地（三沢・横田・嘉手納）と自衛隊基地がそれぞれ3回づつホストを務め、特技分野の研修と日米のパートナーシップの強化を目的とし、一年に計6回実施されているもの。今回ホストを務めた横田基地には、全国から航空自衛官19名が訪れ、同職種の部隊で研修・視察を行った。

1

（写真1）日米相互特技訓練で、米軍担当者による歓迎の挨拶と説明に熱心に聞き入る航空自衛官たち。（9月26日撮影）

（写真2）C-5Mスーパーギャラクシーの前部の油圧式大型開閉扉が開く様子を見入る米軍の空兵と航空自衛官たち。

自衛官たちは機体内部も視察し、米軍の空兵から同機の機動力について説明を受けた。（9月27日撮影）

2

（写真3）横田基地の軍用犬訓練施設の視察を終え、軍用犬を囲んで集合写真を撮る日米のメンバーたち。（9月28日撮影）

3